



北アフリカ地域ニュース

エジプト：ムバーラク大統領とチェイニー米副大統領の会談 (5月14日付現地各紙)

1. 5月13日、ムバーラク大統領は、チェイニー米副大統領と中東和平プロセスの強化やイラク情勢の安定化に向けた努力を含む幅広い問題について話し合った。
2. アワド大統領報道官の発言
 - (1) ムバーラク大統領は、現在の中東和平プロセスの行き詰まりの打開に焦点を当てた一方、チェイニー副大統領は、湾岸地域におけるイラクの安全保障問題やイランの核問題に焦点を当てた。この他、ダルフル情勢やアフガニスタン情勢についても話し合われた。
 - (2) ムバーラク大統領は、「イラクの政治プロセスに対する支持を再確認し、成功の鍵は、事態の沈静化と安定化のためのイラクの国民和解にある」と述べた。
 - (3) (ブッシュ米大統領が、外国軍隊のイラクからの撤退にタイムテーブルを設けないと主張していることに関し) 先日のシャルム・エッ・シェイクでの「イラク安定化に関する周辺国拡大外相会合」での最終声明は、米国に対して撤退時期の設定を求めている。ムバーラク大統領は、「イラクに外国軍隊が駐留している限り、抵抗運動は続くであろう」と繰り返し述べた。一方で、ムバーラク大統領は、仮に外国軍隊がイラク人軍隊による任務引継ぎを十分に行う前に撤退してしまうと情勢は手に負えなくなることを危惧している。
 - (4) (西側諸国が、イランと無条件に対話を行うことを認めたことに関し) 国連安保理常任理事国は、イランが濃縮ウランの製造を停止すれば、イランに対する制裁を解除するとしている。最近行われたラリジャーニ・イラン国家安全保障最高評議会書記とソラナEU上級代表による会談は、イラン核問題が解決に向かうとの希望を与えた。
 - (5) (会談では、大量破壊兵器廃絶に向けた話し合いが行われたかとの問いに対し) ムバーラク大統領は、中東から核兵器を廃絶するというエジプトの立場を繰り返して述べた。
 - (6) (中東和平プロセスの行き詰まりに対する両国の取り組みに関し) 6月にライス米務長官がカルテット(米・露・国連・EU)会合のためにエジプトを訪問する予定である。又、同時期にアラブ・カルテット(エジプト、ヨルダン、サウジアラビア、UAE)も開催される予定である。ムバーラク大統領は、パレスチナ人に対して政治的展望が示されなければ、いかなる欧米諸国の取り組みも無駄に終わるであろうとチェイニー副大統領に伝えた。